

共 育



カラー版をご覧ください。

12月号②

宝達志水町立志雄小学校
TEL 29-2052
FAX 29-2069

ホームページは
こちらから

学校ホームページ 宝達志水町立志雄小学校
学校メールアドレス web-ss@hodatsushimizu.jp

校長 宮下 慶子

めざす児童像 進んで学び、よく考える子 思いやりのある心豊かな子 明るく元気な子
学校と家庭、地域が共に健全な児童の育成を目指しましょう。



しおっ子ひかわっ子 フェスティバル



11月28日(木)しおっ子・ひかわっ子フェスティバルを開催しました。初めて志雄小と樋川小の全校児童が集まりました。初めて集まったとは思えないぐらいスムーズに準備したり、整列したりと普段の力が存分に発揮された姿が見られました。人数が増えると活気が感じられました。

このフェスティバルは各校の5年生が中心となり準備を進めてきました。初めて全校をまとめるという難題にチャレンジし、思うようにうまくいかないこともありました。本番ではみんなで会を盛り上げることができました。校長先生のお話の3つの「た」(たのしむ、たちば、たすけあう)を意識して活動し、来年への期待があふれたしおっ子・ひかわっ子フェスティバルになりました。

思っていたより、うまくいかなかったことが多かった話を聞いてくれない人もいたけどみんなが楽しそうで良かったです。みんなが仕事をできているのか、どこかにいっていないか不安だった時もあったけど、ちゃんとできて良かったです。遊んでいる時は、みんなの行きたいお店がバラバラで困った時があったけど、「後でね」や「これやったらね」とみんなをまとめることができたので良かったです。また、みんなで協力したり、力を合わせたりしながらゲームを楽しむことができたので良かったです。

今日の感じだと6年生になったときに不安なことがあるので、6年生の良いところをみて6年生の良いところが、私が6年生になった時にできるようにしたいです。そして、6年生を送る会で6年生が不安なく、私達に志桜小学校をまかせられるようにしたいです。 5年 板井 由理子

今日、しおっひかわっ子フェスティバルをしてめあてを達成できて良かったです。前半はチームの人と迷子にならないように自分がみんなを引っぱり全力で樋川のゲームを遊ぶことができて良かったです。後半は、最初に自分達の班の前半のチームの人に「あまりお客さんが来なかったよ」と言われたのであまり来ないと思ってきたけど、自分達のお店に行き準備をしているとすぐにお客さんが来てびっくりしました。また、その後も廊下で待っていたりしているお客さんがいたり先生もやろうとしていたけど、お客さんが来て先生達も遊べなかったし、自分も休む暇がなくて大変でした。でも、樋川の人楽しんで自分達のゲームをして嬉しかったです。校長先生が言っていた3つの「た」も達成できたので良かったです。次は6年生を送る会なのでみんなをまとめるようにしたいです。 5年 豊田 百合



今日のフェスティバルはとても楽しかったです。班のみんなと仲を深めるのは当たり前だけど、ひ川の1,2,3,4,5,6年生とも仲を深められました。すべてのひ川のお店を回れました。僕が一番楽しかったと思うひ川のお店は、瞬間移動ゲームです。僕は一番長く生き残ることができ、班のみんなと一番の最高記録を残せたからです。僕達の班は、ボトルフリップでした。ひ川のお客さんもたくさん来てとても嬉しかったです。前半のお店はとても大変でした。お客さんは準備している時に来るし、低学年、中学年の子たちは言う事を聞かないし、勝手にペットボトルを触るし、高学年はとても大変だということが分かりました。来年は、最高学年になるのでみんなのことを引っ張っていきたいと思いました。 5年 金曾 将人

たてわり班ブックトーク 本の世界が広がりました！

12月10日(火)のしおタイムに、たてわりブックトークを行いました。たてわり班ごとに集まり、自分がおすすめしたい本を紹介し合いました。

子どもたちは、本のあらすじやお話の中で好きなところを伝え合い、興味津々な様子でした。読書意欲の向上と、読む本の幅が広がっていくことを期待したいです。



4年生 土砂災害教室

自然の驚異とその対策を学びました

12月9日、石川県砂防課職員の方をお招きして「さぼうって何？」から始まった学習。子ども達は、実際の土石流や土砂崩れの映像を視聴した瞬間、驚きの声を上げ、画面に釘付けになっていました。身近な地域にも今なお土砂災害の跡が残っています。自然の驚異を知ると共に、それを防ぐ対策について真剣に学習することができました。

自分たちの行動を考える学習ではグループで話し合いました。子どもたちは社会科の学習を活かし、活発に意見を出し合っていました。



わたしは、土砂災害教室のお話を聞いて、土砂災害についてたくさん知ることができたのでよかったです。わたしは土砂災害には土石流、がけ崩れ、地すべりの3種類があることをはじめて知りました。土砂災害の映像を見るとわたしが想像していたよりも川の流が速くてびっくりしました。家に防災バックがあるけど、ひなんする時に必要な物をもう一度確認しておきたいです。

国田 紗彩

ぼくは、土砂災害教室のお話を聞いて、砂防ダムを設置しているか設置していないかで、こんなにちがいがあるとおどろきました。

他にも土砂災害の動画を見て、津波みたいに水がおしよせてくるのが心に残りました。

これからは、自分には、こんなことが起こらないじゃなくて、自分に起きたらどうたいしょするかを考えながらやっていきたいと思いました。

北野 湧大



地域の方からのもち米でおはぎを全校児童に



12月9日、全校児童におはぎを2こずつ配りました。地域の方から頂いたもち米を、町内の菓子店にお願いしておはぎをつくってもらいました。

翌日、子ども達からは「おいしかった！」「家族で食べたよ」「甘くて、幸せでした！」という声が聞かれました。

学校が、地域のみな様とともにあることをあらためて感謝したいと思います。ありがとうございました。

シルバー人材センターからいただいたエアリーフローラ



玄関のお花より

志雄小樋川小 5・6年生 深い学び講座

謎解きに、挑戦！

12月9日(月)5,6限 東大セミナーがありました。1学期同様、樋川小の5・6年生とランダムにグループをつくり問題に挑戦しました。「自分を知る」ことから始まり、グループ内に勇者、僧侶、戦士などのタイプに別れて協力して謎を解くという形でした。

何かの糸口をひらめいた子は口火を切って語り出し、それに耳を傾ける他のメンバー、さらに次から次へと考えが飛び交いました。一つの謎が解けても終わりではない活動は、様々な知識が必要であり、その子その子の得意分野を活かせる場でした。

今年は合同授業や行事で何回も顔を合わせてきたおかげで、今回が今まで一番スムーズに会話したり、協力したりして活動していました。最後には、「協力すること」の大切さや協力するためには自分のよさを知り、相手のよさをいかすということを教えていただきました。これからの生活にいかしたいですね。3学期の東大セミナーも楽しみです。

